



- ①津波に流された洗浄前のネガフィルム。デジタル写真データが全盛の今、「ネガフィルムで残っていたからこそ救えた思い出がある」と千葉さんは語ります
- ②被災地に届けたフォトブック。津波にすべてを流され、手元に残った思い出の写真は、この1冊だけということも珍しくはありませんでした
- ③放射能による立入禁止区域近辺での1枚。東日本大震災から4年がたちましたが、震災の記憶を風化させないためにも、被災地の現状をカメラに収め、後世に伝えていきたいとシャッターを切ります

ぴかいち

人、物、技、場所などを選び出して紹介するコーナー「ぴかいち」

田尻地域で写真店「チハフオート」を営む千葉英樹さんは、小学5年生の時に買ってもらったカメラをきっかけとして、写真に興味を持ち始めました。自分が目にした風景を、そのまま写真に残せることが気に入ったそうです。

高校卒業後、仙台で写真を学び、昭和45年4月、当時、写真店が無かった田尻駅前を構え、以来、地元卒業式や成人式、家族写真などの撮影に携わってきました。地域の皆さんには、いろいろな面で助けられたと、開店当時を振り返ります。



写真は一生の宝

千葉英樹さん (田尻地域)

平成23年3月11日、東日本大震災が発生し、連日報道される地震情報をテレビで見ている時、「写真屋の自分ができることは何かないのか」という思いに駆られ、津波被害のあった沿岸部に車を走らせました。

当時は、行方不明者の捜索が最優先で、写真に関するボランティアを受け入れるボランティアはあまりありませんでした。自分にできることを求め、沿岸部を南下して行くと、津波に流された写真を洗浄する学生ボランティアに出会い、そこで流された写真と一緒に、泥だらけのネガフィルムを目

にしました。ネガフィルムを洗浄し写真にすることは、写真屋の自分にしかできないと考え、ネガフィルムの洗浄とプリントのボランティアを始めました。

プリントした写真には、「家庭の明るさ」「人間の温かさ」「親子の絆」が写っていました。「幸せな瞬間が写った写真はお金には変えられない」千葉さんは、寝る間を惜しんで大量のネガフィルムを、一枚一枚、丁寧に確認し傷んでいない部分を選びだし、一枚一枚、明るさを調整しプリントした写真をフォトブックにまとめました。

大変な作業のため、1年間でやめてしまおうかとも思いましたが、写真の持ち主が涙を流して喜ぶ姿、宮城県写真商業組合の支援、家族や地域の協力もあって続けることができました。

これまでに2万枚以上のおよぶ写真を2千冊以上のフォトブックにまとめ被災地に届けました。

震災から4年、「ボランティア活動が一段落したので、これからは、最近、報道されなくなりましたが、放射能による立入禁止区域の現状などを撮影し、写真展を通して伝えていきたい」と千葉さんは語ります。

大切な方の人生最後のセレモニーを厳かに演出いたします

葬祭会館 **ハートホール** ハートホール田尻 / TEL.39-4040

あの時、あの場所、あの人の思い出を... ハートホール 溪雲 / TEL.23-4040

☎0120-342423 365日 24時間対応いたします。株式会社 **チハフ**

あらゆる建設関連職種従事者の国民健康保険

1人親方・個人事業所(5人未満)

- 健康保険料本人額 15,300円 ●介護保険料 1人 2,000円
- 6人以上免除(但し、20歳~64歳の男性を除きます)
- 特定健診無料 / 傷病手当金他手厚い給付

※1人親方労災保険取り扱いしております。

まずはお電話を下さい! **大崎建設職組合** 宮城県建設業国民健康保険組合

☎0229-23-7390

アパマンショップ全国ネットワークで理想のお部屋へナビします

アパマンショップ古川駅前店

宅地建物取引業:宮城県知事免許(12)1000号(社)宮城県宅地建物取引業協会会員(社)全国宅地建物取引業保証協会会員 東北地区不動産公正取引協議会加盟

<http://www.yoitochi.com> 〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通2丁目6番16号

株式会社 古川土地 TEL.0229-23-8484

FURUKAWA-TOCHI ☎0120-2-8484-2(携帯・PHSからも通話可)

創業 昭和47年 不動産と建設の総合力で地域に貢献いたします。

〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通2丁目6番16号

トモエビル 古川信用組合 古川駅前店 古川駅前店 古川駅前店 古川駅前店

アパマンショップ 古川土地

七十七銀行 郵便局 クラシブル 古川学園校 東北アルプス